

## 不朽の名著の完訳なる

上智大学 石澤良昭

カンボジアでは生きる喜びが満ち溢れているのを感じる。貧しいのに何故なのか。それは人々の心が満たされているからに他ならない。言い換えると、人間の本来的な考え方が健全に機能し、巨大な自然とまっすぐ向き合って暮らし、それぞれが生活の中で満足を覚えていく、という当たり前のことである。

カンボジアが、学ぶべき「知」の遺産の宝庫であることを実証しているのが本書『カンボジアの農民』である。上座部仏教をよりどころに精神の平安を得た人々、生きる術とは何か、そうした智慧を本書の随所に見い出すことが出来る。

原著者のジャン・デルヴェール氏は、もとパリ大学の教授で、東南アジア地域研究随一の碩学、東南アジア人文地理学の泰斗として知られる。同氏が一九四九年から十年にわたりカンボジア農村調査を実施し、その成果としてまとめられたのが本書である。カンボジアの伝統的村落を自然・社会・文化の各方面から解明した世界で初めての著作であり、東南アジア研究の不朽の名著として名高い。

原書は七〇〇余頁に及ぶ雄編だが、その価値をいち早く認め、一〇年にわたる現地勤務のかたわら、刻苦勉励全訳の大業に挑まれたのが故及川浩吉氏である。氏は完訳本の完成を待たず、惜しくも一九九八年逝去されたが、関係各位の尽力によりこの度刊行の運びとなった。本書のような本格的な東南アジア地域研究の全訳刊行は初めてであり、二一世紀のわが国における東南アジア研究の基本資料になるものと確信している。研究者はもとより、広く学界・関係諸氏の座右に置かれんことを願うものである。

### 本書の内容と特色

第2次大戦と内戦の間に、十数年の歳月をかけて行われた唯一の総合調査による、百科全書的地誌。農業国カンボジアの環境や文化・社会経済を、豊富な資料に基づき、自然・人文・社会の各項目で描写。乾季と雨季による流水変化など、複雑な自然環境に適合した独自の伝統的生活文化を、実証的に分析。作業・道具・動植物から水利技術にいたるまで、多様な暮らしのディテールを、詳細な図版、緻密な表、貴重な写真を交え、生き生きと紹介するカンボジア総合事典。

[ 体裁 ]	[ 定価 ]
・ A 5 判・上製・函入り	・ 本体 15000 円 + 税
・ 全 800 頁・写真図版多数	( ISBN4-89489-001-1 )



発行所 株式会社風響社

〒114-0014 東京都北区田端 4-14-9

電話 03-3828-9249 FAX03-3828-9250

<http://www.fukyo.co.jp>

注文制です。最寄りの書店または直接小社にお申し込み下さい。

お取り扱い書店

百科全書的不朽の名著、待望の完訳なる！

J・デルヴェール著 / 石澤良昭監修・及川浩吉訳

# カンボジアの農民

自然・社会・文化

風響社

# 目次

訳者序文  
著者序文

推薦序文（今川幸雄 元カンボジア大使）

## 総説

北東台地  
南部カンボジア山地  
北部カンボジア  
クメール・イスラム  
ベトナム人（ユウン）  
中国人（チエン）

## 第1部 環境 カンボジア平野

### 第一章 雨

第1節 モンスーン熱帯性気候  
暑熱/季節  
第2節 乾燥の様相  
第3節 カンボジアの気候におけるその他の悪条件

### 第二章 平野の起伏と洪水

第1節 平野の起伏  
プノン・コンボンチャム台地/湖水平野/四本腕平野  
第2節 洪水  
増水  
洪水  
洪水の効果

### 第三章 土壌

第1節 砂質土壌  
「灰色土」/ばら色と白色の土壌  
第2節 粘土質土壌及び粘土質・泥質土壌  
粘土質土壌/バットンパンの粘土質・泥質土壌  
第3節 川岸の土壌  
泥砂質/粘土/泥粘土  
第4節 玄武岩土壌  
赤色土/「褐色土」/「黒色土」

### 第四章 植生

フタバガキ科の密林  
フタバガキ科の退化林  
マメ科及びセンダン科の密林  
サルスベリ属の林  
疎林  
湖沼の洪水林（ブレイ・ローニエム）  
スマイツの植生（ブレイ・トロック）  
ヴィアル

## 第2部 農村文化

### 第五章 人

第1節 体型  
第2節 性格の特色  
信仰

### 第六章 衣・食

第1節 衣  
衣服/マックルーの染色  
第2節 食物  
飲み水/料理  
第3節 小家畜の飼養  
多くない小家畜/養豚/家禽の飼養  
第4節 家族漁業  
家族漁業と大規模漁業/家族漁業の道具/家族漁法/プロホック探究/湖水北方地域の農民漁夫/カンボジア人の職業漁師

## 第七章 家とプーム

第1節 家（プテア）  
高床造り/平面図と屋根/材料と家具/果樹園

第2節 プーム（集落）  
居住の不安定性/クム/プーム/分散居住/再集団化/集団居住/プノムの麓のゆったりした村落/川岸の居住/プーム・プサー（村落市場）/居住と寺院

## 第八章 道具と家畜

第1節 道具  
耕起/灌溉用具/收穫用具/ひき臼と杵/運搬用具  
第2節 家畜  
農作業の手段としての家畜の総数/飼養技術/飼養形態

## 第九章 農村の手工業

第1節 木・石・金属  
木工/石切り場/金属  
第2節 陶器製造  
所在/製造/専門職化/販売  
第3節 さる類の製作  
さる類製作/ひき臼の製作  
第4節 織物  
織物/綿織/絹織/蘭こさ織

## 第二〇章 トナオト（オオギヤシ）

トナオトの分布  
トナオト樹林の経営  
やしの樹液の採取  
樹液の利用と砂糖の製造  
経営形態  
砂糖製造の収入  
トナオト地誌

## 第3部 住民と経済

### 第一章 住民

第1節 人口の分布  
人口密度地図/密度の高い地域/密度が中等度及び低い地域/人口分布の一般的特徴  
第2節 人口様態  
若い住民/出生率/死亡率

### 第二章 稲作者

第1節 水田  
雨季田/浮き稲田/乾季田  
第2節 稲作  
種子の選定/農作業周期/農民と農作業上の障害  
第3節 稲作の栽培体系  
雨季稲の単作/諸種の稲作の栽培の組合せ/副次作物

## 第三章 畑地の農民

第1節 川岸の多角栽培  
多彩な作物/作物の地理的分布  
第2節 チャムカー（畑作地）  
フレック（水路）/畑/栽培体系の起因  
第3節 もつかる仕事  
栽培管理/収量と利益

## 第四章 農民の国勢回復

第1節 一八七四年のカンボジア「州別」人口  
第2節 国勢回復の方式  
一九二一年の人口密度/国内からの移住/現地住民の増加/ヴィアル及び森林  
第3節 土地の不均衡と人口の不均衡  
不均衡な土地/人口過剰の問題

## 第4部 農村社会

### 第五章 農地の経営

第1節 カンボジアの五クム村における農村社会  
クララ村（コンボンチャム県コンボンシエム郡）/  
コーククム村/チャムカーサムロン村/ロアン村

/ボンロ村/他の数例

第2節 農家の経営  
営農面積/農機具/労働力

## 第六章 土地の所有

第1節 平均田地所有面積  
2<sup>5</sup>畝未満の土地所有/平均3<sup>3</sup>畝以上の土地所有者  
第2節 小地主の土地所有  
土地所有者の分布/大地主/土地のない農民  
第3節 土地所有と農業経営  
直接の農業経営/分益小作制度/借地小作

## 第七章 商業の独占と生活水準

第1節 商業と高利  
農民社会における商人/商業/物々交換と移動/高利/潮洲系中国人  
第2節 生活水準の実態

## 第5部 地方の生活

### 第一八章 四本腕平野地方

第1節 古い州  
貧しい土地/プノンベン近隣の人口過密地帯/中央諸州（カンダル、タケオ）/南部地方の低平地帯/北部諸州  
第2節 四本腕平野の川岸  
トンレトナム川上流沿岸 東岸及びシトー地方/  
トンレトナム川上流川岸/トンレサーブ川の川岸/  
バサック川の川岸/トンレトナム川下流の川岸  
第3節 南東の二州  
低くて粘土質の兩州/人口密度が中等度の平野部/  
ブレイヴェーン州北部の田地/パープノム及びスヴァイリエンの田地/森林地方/国境地方

### 第一九章 コンボンチャム地方

第1節 玄武岩の台地  
赤色土地帯の征服/赤色土の「チャムカー・ルー」/  
赤色土及び褐色土の村落/黒色土及び「チャムカー・ルー」の水田/岩石地帯の水田  
第2節 コソティンとクラチェ間のトンレトナム川岸

### 第二〇章 湖水平野

第1節 コンボントム地方  
スラヨ/森林地帯、スタウンとチクレン  
第2節 シエムリアブ地方  
シエムリアブ川沿岸/ブラダック  
第3節 クロラツニユ地方  
第4節 バットンバン地方  
最近の国勢回復/コーククム/チャムカー・サムロン  
第5節 ポーサット地方  
タスノーク/ポーサット川

## 結び

解題（石澤良昭）

## 参考文献

## 付録

写真・図表一覽  
索引（現地用語対照一覽付き）

写真・図表内容の一部

- ・カンボジアの民族言語地図
- ・調査対象地域地図
- ・土地の起伏と洪水範囲地図
- ・土壤地図
- ・植生地図
- ・牛耕・牛車、水牛水浴（写真）
- ・水車、足踏水車、灌溉柄杓（写真）
- ・プロホック作り、土器作り、オオギヤシ（写真）
- ・田植え、稲刈り、足踏み臼（写真）